

首都高速道路建設事業(3)



本事業により完成したチャオプラヤ河の斜長橋

[借款概要]

承諾額/実行額	25,900百万円 / 11,097百万円
借款契約調印	1982年7月
借款契約条件	金利3.0%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1989年9月

[事業概要]

バンコク首都圏に高速道路網を建設することにより、交通渋滞を緩和し、経済発展に寄与するもの。本事業は市中心部とタイ南部方面をつなぐ高速道路建設のうち、チャオプラヤ河を渡る橋梁の建設を対象とする。

[評価結果]

バンコク首都圏の高速道路網は、円借款により建設が進められた。1970年代に開始した第1次計画のうち、第1期路線（北部タイ方面への国道に接続）は1981年、第2期路線（東部方面への国道に接続）は翌82年にそれぞれ完成した。

第3期路線は、これらに続いて南部方面への国道に接続する高速道路（ダオカノン～クロントイ線、約10km）を建設するものであり、本事業は同高速道路のうちチャオプラヤ河に架ける斜長橋（450m）とアプローチ道路（両側50m）を建設したものである。同橋は1987年末に完成し、続いて建設された道路区間、インターチェンジ等を含む、第3期路線は、第1、2期と合わせバンコク首都圏を周辺地域と結ぶ大動脈となっている。

本事業により建設された橋梁及び西側のインターチェンジは、中でも交通量が多く、全体の高速道路において最も収益性の高い路線のひとつである。

なお、高速道路の維持管理は良好であるが、過積載車両や天候の影響等による舗装の劣化に対処することが望まれる。